

青年対策交流集会報告書

東北地方青年婦人部塩釜支部塩釜分会

東北地方青年部 副部長 菊池勇哉

2月22～24日に愛知県豊橋市で青年対策交流集会が開催されました。

全港湾中央本部から鈴木誠一執行委員長に【全港湾の歴史】について、松永書記長に『青年婦人部の歴史とこれからの全港湾について』オルグを受けました。戦後大変の中、1945年から始まった全港湾の歴史を改めて知る事が出来、組織の重要さ横の繋がりを感じる事が出来ました。2025春闘や経済関連の話もあり物価上昇の影響や人財不足といった全港湾を取り巻く大きな問題をどう乗り越えていくのか、そのすべなどお話いただきました。今後の全港湾を背負っていく青年婦人部の力は本当に大切なもので今自分達が何をすべきなのか、目の前の問題にどう取り組むべきなのか、改めて考え直す大切な機会となったと思います。

オルグ終了後グループに分かれて分散会を行いオルグを聞いて感じた事や質疑等を話し合いました。その中で人財の減少は何処の地方、支部でも問題視されている事を知り、オルグの中で日本の物流の99%を海運を占めているという内容を知り改めて港湾労働者の存在の大きさを再認識しました。

レクレーションのドッチボールや、懇親会では最高に盛り上がり楽しく交流を深める事が出来ました。今回も青年対策交流集会に参加でき、とても濃い3日間となりました。地本に戻りこのような活動を発信していきたいと思います。